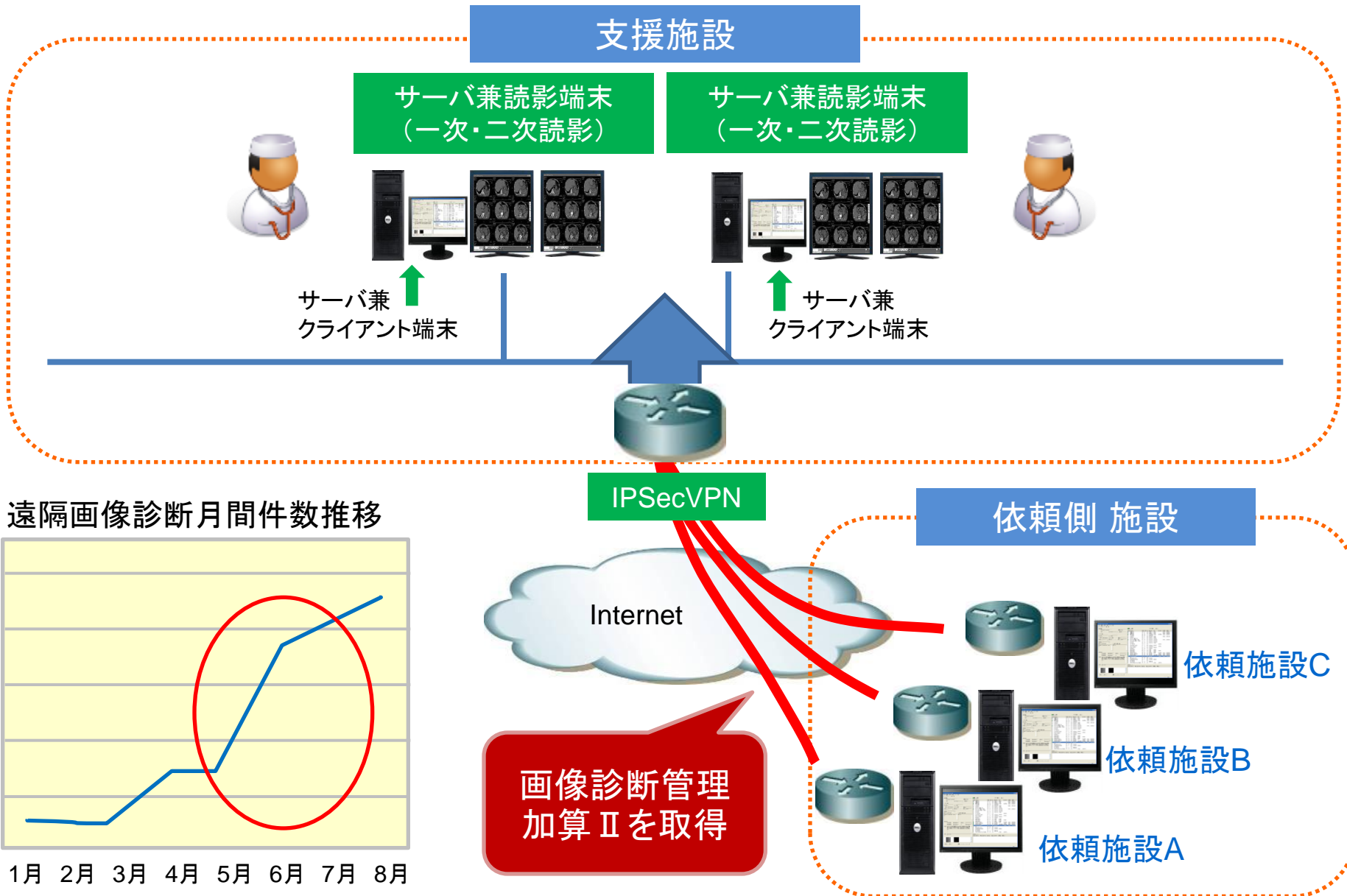


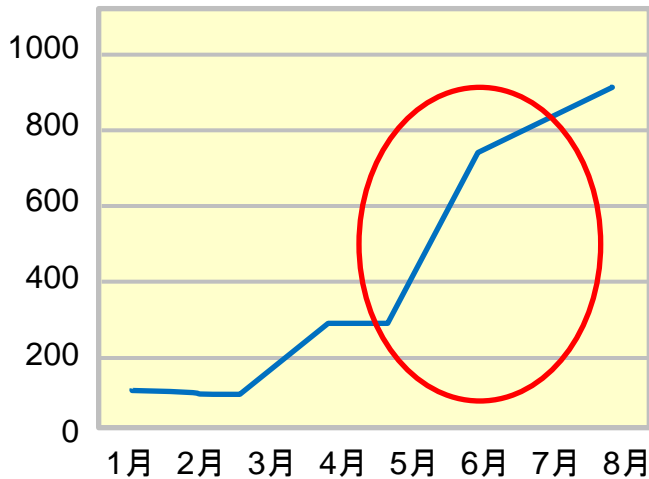
シンククライアントによる 遠隔画像診断の運用事例

ViewSend ICT株式会社 営業推進室 鈴木俊之

遠隔読影システム 構成図

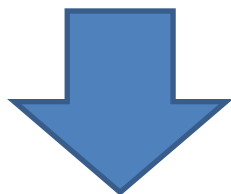


遠隔画像診断月間件数推移



■ 課題点

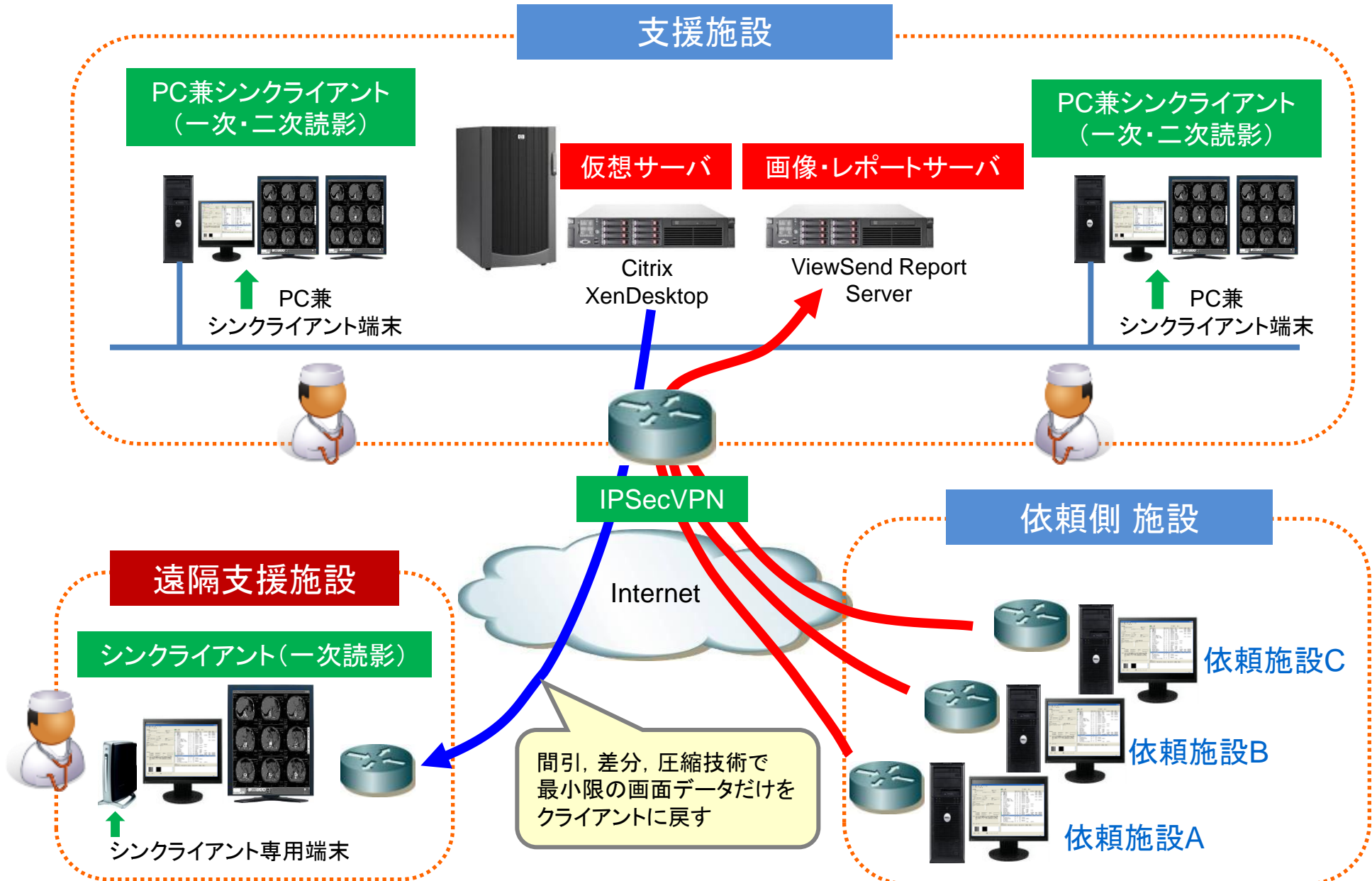
- ・ 読影依頼件数が増大する中、支援施設内の読影医だけでは対応できない



■ シンククライアント化の効果・特徴

- ・ 支援施設外の読影医による一次読影が可能（場所の制限がない）
- ・ インセンティブにより多くの優秀な読影医が集まりやすくなる
- ・ より多くの遠隔読影が行えることで増収増益となる
- ・ クライアントにデータが残らない（セキュリティが高い）
- ・ C/S型と同様に診断画像の画質が劣化しない

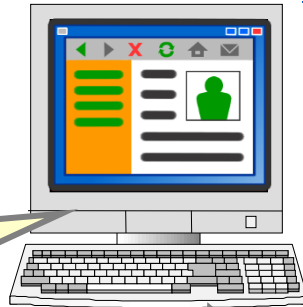
遠隔読影システムのシンククライアント化 構成図



XenDesktop(仮想デスクトップ型)

概要紹介

クライアント



端末専用のソフト
をROMで搭載

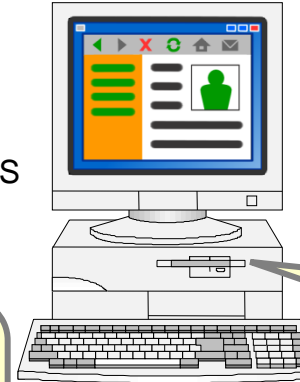
キーボードとマウス
からの入力をサーバ
に転送

WBT (Windows-Based Terminal)

シンクライアント専用端末
として1WAYでの利用
主にWindows CE或いは
Embedded XPをファームOS
として搭載

PC

既存のPCを利用することで
スタンドアロン、クライアント
サーバ、シンクライアントと
いった3WAYの利用が可
Windowsおよびオープン系
の全てのOSが利用可

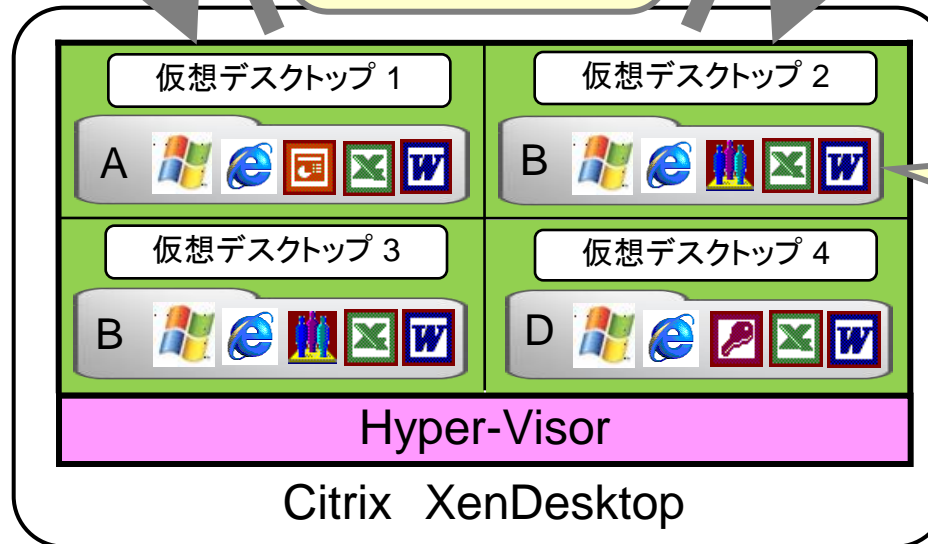


クライアントSW
を搭載

キーボードとマウス
からの入力をサーバ
に転送

間引, 差分, 圧縮
技術で最小限の
画面データだけを
クライアントに戻す

仮想サーバ



仮想技術でサーバ上
に複数の仮想PCを
作成する